

V 全体のまとめ

【基礎データ】

- 1 「年代」は、子育て世代と言われる 20 歳代から 40 歳代が 6 割強を占めています。残り 3 割強は 10 歳代から 70 歳代以上と幅広い年代層が利用しており、施設のコネクトである多くの方の交流拠点としての役割を果たしているものと考えられます。
- 2 「お住まい」は、広域圏内が 4 割強、広域圏外が 2 割となっております。広域圏外の 2 割のうちその他会津、その他県内は 8 割を占めており、めごぷらぎは「屋内こども遊び場」として福島県内で認知、利用されていることが伺えます。
- 3 「利用した（したことがある）施設」は、屋内こども遊び場めごぷらぎ、アイデミきたかたロビー・エントランスホール、子育て支援ルーム、交流スペースの順になっています。
ロビー・エントランスホールは各施設利用の待ち時間、児童・生徒の放課後の居場所や市民の交流の場として自由にご利用いただいております。
- 4 「利用頻度」は、週単位の利用は広域圏内が約 3 割、月単位の利用は広域圏内外ともに 4 割弱で、利用頻度全体の約 6 割を占めており、施設を頻繁に利用するリピーターが多いことが伺えます。アンケート結果はこうしたリピーターの貴重な声であり、今後の施設運営にとって重要なものであると考えられます。

【集計表・散布図】

- 1 全体評価の平均点は満足度 89.60 点、大切さ（重要度）94.63 点であり、利用者からは概ね不満がなく満足であると評価されています。
- 2 重要維持領域（右上）
スタッフに関すること、施設に関することのほか、施設を利用した全般的な満足度は高い評価を得ており、引き続き当施設の「強み」として維持強化していく必要があります。
- 3 改善領域（左上）
利用できる時間、施設の来やすさにやや不満に思うと評価されています。
利用時間については、めごぷらぎでは「第一クールを朝早い時間帯、朝 8 時か 9 時頃からは欲しい」「喜多方市民卒が欲しい」などの意見があり、期待の高さが伺えます。
施設の来やすさについては、広域圏外から利用する場合に施設や出入口がわかりにくいなどの点から低い評価であったと考えており、SNS 等の媒体を活用して施設の情報発信に努める必要があります。

【自由記述】

70 名以上の方から貴重な意見、要望等がありました。改善等のうちハード面については、既存の物品等が利用できる場合は早急な対応、予算等を伴うものは優先順位をつけながら、利用者のニーズに合った施設整備をする必要があります。ソフト面については、スタッフ一同、より一層のサービス向上に努めるなど、多くの方の交流拠点としての役割を果たしていくことが求められます。